

広報紙

# JAやまがた

管内（山形市・上山市・山辺町・中山町）の組合員の方々にお届けします

2024

# 6

June

JAやまがた 2024/6月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 <https://www.jayamagata.or.jp/>



## きゅうり

山形の昼夜の温度差が果肉を引き締めて、瑞々しく香りの良いきゅうりを作る。管内は県内有数のきゅうり産地で最盛期には1日2回の収穫を行う。きゅうりは表面のいぼがチクチクするものが新鮮。



おいしさ直売所  
公式LINE

## 第27回通常総代会

インフォメーション

## 土曜日休業のお知らせ

旬の料理

## さくらんぼソースのパンナコッタ



## さくらんぼソースの パンナコッタ



JAやまがた & 山形学院高校FDC presents

### 旬の簡単クッキング



### 材料 器6個分(作りやすい分量)

(パンナコッタ)	牛乳	300cc	生クリーム	200cc	砂糖	60g	粉ゼラチン	15g	水	60cc
(さくらんぼソース)	さくらんぼ(紅さやか)	100g	砂糖	20g	レモン汁	小さじ1	〈飾り〉	さくらんぼ(佐藤錦)	18個	

### 作り方

- 1 さくらんぼ(紅さやか)のじくと種を取り除き砂糖を加え30分ほどおいて水分を出してから、レモン汁を加え中火で4~5分煮て、さくらんぼソースを作っておく。
- 2 飾り用(佐藤錦)12個分の種を取って半分に切り器の底に3欠片づつ入れる。
- 3 (パンナコッタ) ボウルに粉ゼラチンと水を入れ、ふやかしてから湯煎し溶かしておく。
- 4 鍋に牛乳、生クリーム、砂糖を入れて混ぜて加熱しふつつつしてきたら、湯煎したゼラチンをよく混ぜあわせボウルにとり、周りを氷水で冷やし粗熱を取る。
- 5 ころみが付いてきたら器に入れ、冷蔵庫で約1時間ほど冷やす。  
①のさくらんぼソースを上から注いで、さくらんぼを1粒上に乗せて出来上がり。

### FDC Cooking Tips

★お好みで、セルフィーユやミントを飾るといりどりもキレイです \*

★パンナコッタはイタリア語で「煮詰めたクリーム」という意味です!

### 山形学院高校フードデザインクラブ(通称 FDC)

FDCはアイデアを出し合いながら作ってみたい料理や菓子を調理して食べる、とっても楽しい山形学院高校の部活動です。





# 第27回通常総代会

5月17日(金)  
山形テルサ テルサホール

## ご挨拶 岡崎輝明 代表理事組合長

時節柄大変お忙しいところ、通常総代会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。第8次中期経営刷新計画は、今年度が実践最終年度になります。「戮力協心」組合員、農業、地域、その未来のために「」をスローガンに掲げ、JAの使命である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化への貢献」の実現に向け、計画の着実な実践に取り組んできており、実践初年度の令和4年度決算に続き、令和5年度決算におきましても剰余金処分案では、出資配当ならびに事業分量配当のご提案をさせていただきます。少しでも組合員の皆さまの農業経営の一助になればと考えております。



岡崎組合長挨拶

JA自己改革を含め早期警戒制度では、引き続き持続可能な収益性と将来にわたる健全性が要請されております。当JAを取り巻く環境が従来以上に大きく変わっても揺るがない経営基盤の確立を念頭に、基本理念である

## 議事

議長に、宮浦支店総代会長の吉田裕昭さんと、上山南支店総代会長の小玉栄治さんが選出されました。6の議案が提出され、慎重審議の上、全議案承認されました。

## 提出議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 定款の一部変更について
- 第3号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 第4号議案 令和6年度事業計画の設定について
- 第5号議案 令和6年度における理事および監事の報酬について
- 第6号議案 令和6年度賦課金の賦課基準および徴収方法の決定について
- 付帯決議案 決議事項中、行政庁の指示による字句の修正等は理事会に一任します

「農業振興を通じ食と農の新たな喜びを広げ、組合員・地域の皆さまにとってなくてはならない存在として役割を発揮し続ける」ために、役員一丸となって取り組んでまいります。

## 令和6年度事業計画

農業振興を通じ「食」と「農」の新たな喜びを広げ、組合員・地域の皆さまにとってなくてはならないJAとして役割を発揮し続けるため「戮力協心」をスローガンに役員一丸となった事業運営に努めます。

## 各部門の取り組み内容

### 営農経済部

JAのめざす基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化への貢献」へのさらなる挑戦と持続可能な農業の実現に向けて、地域農業振興計画を基本に、営農指導の強化、気象災害等に強い産地形成、農畜産物の有利販売、低コスト農業の推進、労働力確保への取り組みを促進し、組合員、生産組織一丸となって足腰の強い農業経営基盤の確立に努めます。

### 経済事業

経済渉外担当は、適切な資材の提案と気象災害に備えた資材の情報提供を行い、推進の強化による購入者拡大に努めます。また、大口先（大規模生産者、農業法人等）を専任とする経済渉外担当者は大型規格農薬、軽量化肥料の普及拡大による生産コストの軽減に努め、充実した相談業務および推進活動を行います。

農機事業は労働力軽減に対応したスマート農業機械を提案するとともに、修理および整備にも重点を置き、安心で確実な業務を組合員の皆さまに提供します。

生活部門では、組合員・地域住民の毎日の暮らしに必要な生活用品を提供することを基本に地産

地産など生活関連事業を展開していきます。

### 金融共済部

個人貯金残高伸長および新NISA制度を活用した資産運用提案の取扱い拡大に取り組んでいくため、総合事業の強みを活かした収益基盤維持を基本とする推進体制の継続実践と令和6年下期を予定している新しい信用事業システムの運用により、事務ミス削減やペーパーレス等内部処理の事務効率化をはかり、お客様への相談機能の充実に取り組んでいきます。

### 共済事業

「二人は万人のために、万人は一人のために」という「相互扶助（助け合い）」を事業理念に「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者の皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりを目指した取り組みを強化していきます。

### 資産サポート部

宅地等供給事業 地域に根ざした豊かな暮らしの実現に向け組合



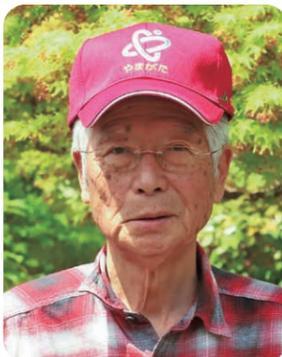
## 経営管理・人事 福祉事業・内部監査

第8次中期経営刷新計画の実践最終年度として、業務の効率化等とおして一層の経営基盤強化を最優先事項として取り組みます。

相続相談事業 相続・事業継承支援による税務相談および相続相談体制の強化に努めます。



長澤豊さん 旭日中綬章を受章



令和6年春の叙勲で、山形市長谷堂の長澤豊さんが旭日中綬章を受章されました。  
長澤さんは昭和59年に日本沢農協の理事に就任して以来、長年にわたって農協運動に携わり、平成29年から約3年間、全農会長を務められました。自身もぶどうの専業農家として約20アールの園地で「デラウェア」などを栽培しています。

協同組合運動の先人の言葉「ゆく道は、協同のみち、相共に歩みてゆくを喜びとせん」を胸に刻み、組合員の生活の向上を目指して農協の自己改革に取り組みました。  
全農会長時代には生産から販売まで一体となったサプライチェーンの構築を目指し、香港、台湾、中国など海外拠点を整備しました。  
受章については「大変名誉なこと。組合員や農協、家族の支援があったからこそ。」と語られました。

わんぱくまぐりスクール 参加者募集

ぶどう狩り体験 8月31日(土) 9:30~



募集定員 管内の小学校に通うお子様のいるご家族10組  
応募締切 7月26日(金) 必着  
※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。

詳細につきましてはJAやまがたのHPをご覧ください。お近くの本・支店へお問い合わせください。

土曜日休業のお知らせ

当JAでは、これまで第1・第3・第5土曜日を営業日としておりましたが、政府が掲げる働き方改革を踏まえ、職場環境の改善と人材確保等を図るため、下記の内容にて休業させていただきます。  
皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、今後もサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開始日 令和6年5月18日(土) から  
実施対象 本店 および 支店  
※不動産、直売所、営農センター、農機センターは除く。  
※ATMの稼働に変更はありませんので、土・日・祝日もご利用いただけます。

お問い合わせ 人事課 023-624-8257

JAやまがた お子様を未来を応援!

スマートフォン・タブレットで最大2.50%引き後変動金利

教育ローン 年1.80%保証料含む

JAやまがた マイカーの夢を応援!

スマートフォン・タブレットで最大2.40%引き後変動金利

マイカーローン 年1.70%保証料含む

※保証機関：山形県農業信用基金協会

質疑応答

総代会で、総代の皆さまよりいただいたご質問・ご意見を紹介します。  
■JAやまがたの事業にあたってやらなければならないいけないことに、「農業者の所得増大」とあるが、具体的にどれだけの所得が増大したのか。

全ての農業者の所得等を把握することは大変困難であり、現実的でもありません。そのため、農業者の所得増大に直接関係する項目は間接的に寄与するであろう項目について目標値を設定し取り組んでおり、その内容について総代会資料の112ページに自己改革工程表(数値編)という形で結果を合わせて示しています。まずは農業生産を拡大し、拡大した生産物についてJAを利用していただく。その結果ボリュームが大きければ各市場に、より大きな声で価格設定の交渉等ができます。そうした中で、販売高が高くなれば生産者に還っていきます。それが貯蓄に回り、共済にも回り、すべてがリンクしていくものと考えています。農業生産者の方からは農作物全般について、ぜひともJAの事業を利用いただき、JAも良くなる、生産者も良くなるという構図を作っていきたいということとで目標を掲げています。

■ライスセンターの事業について、今現

在の色彩選別機の設置状況はどうなっているか。設置されていないのであれば、なぜ設置されていないのか。

管内にはライスセンターやコントリビューターが多々ありますが、色彩選別機が入っていないのは本沢ライスセンター、中川ライスセンター、長崎ライスセンターの3か所となっています。理由としては、色彩選別機が高額なため、資金面の問題があります。また、隣接しているライスセンターやコントリビューターには色彩選別機がありますので、そちらを利用していただいている状況です。

■色彩選別機の導入について勘案してほしい。国の補助金等を利用して、今後導入する計画はあるか。

当JA管内の施設については、昭和40年代から昭和50年代にかけて整備したものが多く、老朽化が進んでいます。第8次中期経営刷新計画のなかでも、最終年度である令和6年度は、施設の再編も含めて検討することになっています。

■組合長挨拶の中の、JAの使命である3つの項目に該当する令和6年度の新規の施策はなにか。

営農経済部門については、当JAのたい肥センターが数年前の豪雨被害で事業廃止を検討していましたが、環境に配慮し

た農業を促進する「みどりの食料システム戦略」を提唱する国の方針もあり、継続することとなりました。具体的な事業の方法は現在検討中ですが、決まりましたら組合員の皆さまにお伝えします。

金融共済部門については、日銀がマイナズ金利施策解除で17年振りに利上げし、当JAについても貯金の金利を上げさせていただきます。貯金の必要性が再認識され、その集めたお金をどうにか運用しなければなりません。貸付の金利(短期プライムレート)が上がらないので、住宅ローンにおいてなかなか利ざやが取れず厳しい内容となっています。農林中金の預金施設を利用しながら、運用していきたいと考えています。

また、NISA等について、若い世代を中心に多くの方がNISAに興味を持っています。金融機関としてもNISAの取扱店を2店舗増やし、皆さまのご期待に応えられるような態勢を整えたいと思います。NISAについてはリスクも伴いますが、お客様の目線に立った活動をしていきたいと思っています。

■今年度が第8次中期経営刷新計画の最終年度となっているが、令和6年度の事業計画について聞きたい。

営農経済事業の米穀関連施設については、老朽化していますので各関係機関との検討調整を行いながら、令和6年度中方向付けし、結論を出すこととなっています。農機センターについても施設

が老朽化していますので、併せて令和6年度中に方向付けしていきます。

経済渉外の強化については、経済渉外担当の業務を明確化し、ただの配達係ではなく渉外活動を行う内容で令和5年度より実施をしています。また、研修会等に参加して資質の向上に努めています。農業関係の金融の施策に関しては、当JAの農業総合支援班が、農林中金のトリーニー制度を利用し、農業法人の様々な分析、農業者の皆さまの経営的な分析等を行い、ある程度投資をしながら所得を上げていけるよう、アドバイスをしています。営農経済部門と一丸となって農業所得が上がるように、アドバイスするかたちを令和4年度に決定しています。

また、令和6年度は店舗機能見直しの目玉として、営業店システムが導入になります。今年の9月頃から徐々に導入していくため、研修等を行っています。共済については、本店に自動車共済契約サポートセンターを設け、自動車共済に対して安心・安全でより良い提案をしていくよう努めます。

■米の水張りについて、この制度が私たちにとって有益かそうでないか、考えを聞かせてほしい。

農業者にとって不利な条件だと思っています。今後とも国へ要請していきます。

4月20日(土)

## おいしさ直売所公式LINE登録者6,000人突破!

おいしさ直売所南館店の周年祭で行われた直売所公式LINEの友だち登録イベントで、登録者が6,000人を突破しました。6,000人目の登録者には同店の仲澤店長から「つや姫」6キロが贈られました。

当JAでは若手職員によるブランディングチームを中心に、直売所の利用者数増加を目指してイベントの開催や店頭POPを設置し、登録を推進しています。

おいしさ直売所公式LINEでは、毎週の農産物入荷情報やイベント情報を配信しています。登録者を対象としたプレゼント企画なども開催しています。ぜひご登録ください。



5月10日(金)

## 小笹うるい部会 吉村知事へ表敬訪問



南部営農センター小笹うるい部会は、吉村美栄子県知事に「小笹うるい」を贈ってPRしました。同部の鈴木憲一部会長と岡崎輝明組合長などが県庁を訪問し、鈴木部会長が吉村知事に「小笹うるい」を手渡しました。

「小笹うるい」は2019年に農林水産省の地理的表示(GI)保護制度に登録され、現在は9人の生産者が栽培しています。

鈴木部会長は今年の収穫状況やインバウンドによる需要の高まりにより価格が高値で推移していることなどを説明し、「農業を使っていないため安心して食べてもらえる」とアピールしました。

吉村知事は「GIの取得で山形の農業の評価がさらに上がる」と話し、ブランド化と消費拡大に期待を寄せました。

5月9日(木)

## 母の日に向け さくらんぼを出荷



中央営農センターでは5月12日の「母の日」を前に、中央ハウスさくらんぼ研究会の加湿さくらんぼが関西、中京方面へ出荷されました。

同部はこの日、「佐藤錦」「紅秀峰」「やまがた紅王」「紅さやか」など86キロを出荷しました。ハウスさくらんぼの需要がピークを迎える母の日のプレゼント用に、当JAオリジナルのハート形パックを使用するなどして有利販売を目指します。

4月25日(木)

## 小笹うるい目ぞろえ会

南部営農センター小笹うるい部会は、上山市の小笹公民館で同市特産の伝統野菜「小笹うるい」の出荷打ち合わせ会と目ぞろえ会を開きました。

生産者6人とJA職員が参加し、販売情勢の報告の後、持ち寄った「小笹うるい」を見比べて出荷の等級や階級の基準を確認しました。

鈴木憲一部会長は「安全・安心でおいしい小笹うるいを消費者の皆さんに届けたい」と意気込みました。

今年は3月の天候不順により例年に比べ5日ほど生育が遅れ、露地ものの初出荷は4月24日となりました。部会員9人で促成栽培、露地栽培合わせて約7トン県内市場や首都圏へ出荷する計画です。



## 管内の主な出来事をご紹介

# JA やまがた NEWS TOPICS

4月18日(木)

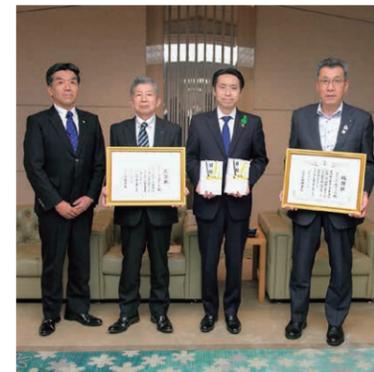
## 供養料を子ども達のために

当JAとJA山形市、全農ライフサポート山形は、山形市に災害用発電機1台と幼児用ベンチ5台を贈りました。発電機は山形市さくら保育園、ベンチは山形市いずみ保育園に贈られます。

昨年11月にやすらぎ嶋ホールで開催された人形供養祭で納められた約3,000体の人形やぬいぐるみの供養料を活用しました。

贈呈式では全農ライフサポート山形の高橋幸紀社長より寄贈の趣旨説明の後、当JA岡崎輝明組合長とJA山形市の大山敏弘組合長が寄贈品の目録を佐藤孝弘市長に手渡しました。

佐藤市長は「毎年ありがとうございます。子どもたちのために役立てたい」と感謝を述べ、それぞれのJAに感謝状を贈りました。



4月11日(木)

## 山形市市民農園開園式



山形市の市民農園が開園し、七浦の「七浦右京橋農園」で開園式が行われました。今年は6カ所、99区画に97人の利用者が野菜や花などを栽培します。

開園式では山形市の吉原仁農林部長と当JAの栗原秀行専務のあいさつの後、利用者代表の更科一裕さんなど4人がキャベツの苗を初植えました。

栗原専務は「市民農園を通じた農業についての理解促進活動を継続し、食農教育の展開や地産地消に向けて取り組んでいく」と話しました。

同市は市民農園開設から10年を迎えた七浦右京農園の青山甚右衛門さんに感謝状を贈りました。

市民農園は昭和58年に開設し、山形市とJAやまがた、JA山形市の2JAが運営に協力しています。

4月9日(火)

## 新任総代研修会

協同の杜JA研修所で、JAやまがた新任総代研修会が開催されました。

この度の総代選挙で選ばれた新任総代の皆さんを前に、岡崎輝明組合長は「総代会はJAの最高意思決定機関です。来年は役員改選を控えていることも踏まえ、意義ある研修会にさせていただきたい」とあいさつしました。

研修会では、JA山形中央会の大武義孝専務から「農業情勢と総代の役割について」の研修と、当JA顧問税理士の吉田義尚税理士から「総代会資料の貸借対照表と損益計算書の見方について」説明がありました。参加者は熱心に聞き入り、5月17日開催の総代会に備えていました。



所有者不明の土地を無くすため、  
令和6年4月1日より

# 相続登記が義務化 されました!

## 改正内容

正当な理由（相続人が非常に多く、資料の収集・相続人の把握に多くの時間がかかる場合など）がなく相続登記を行わない場合は、10万円以下の過料が科される場合があります。

## 登記申請期限

- ①相続（遺言）により不動産を取得したことを知った日から3年以内
- ②遺産分割協議により不動産を取得した場合は、遺産分割が成立した日から3年以内
- ③施行日（令和6年4月1日）より以前に相続が開始している場合は、上記①②または、令和9年3月31日のいずれか遅い方

相続人申告登記（令和6年4月1日施行）

相続登記が義務化されたことに伴い、期限内に相続登記ができない場合に暫定的に相続登記の申告義務を履行するための制度

## 相続登記申請手続きに関するご相談は JAやまがたへご相談ください

- ・相続登記の申請方法を知りたい
- ・相続登記義務化の内容を知りたい
- ・相続物件を売却をしたい
- ・相続した物件をリフォームして賃貸で収益化したい

など



司法書士と連携して、専門の担当者がサポートいたします



詳細は法務局  
ホームページより  
ご確認ください。

法務局  
相続登記  
ホームページ



JAやまがた 資産サポート部  
山形県山形市旅籠町一丁目12番35号

お問い合わせ  
TEL.023-624-8258

ホームページ  
JAやまがた | 検索  
https://www.jayamagata.or.jp

4月15日(月)

## 園芸事業販売計画 38億8,400万円の達成に向けて 令和6年度 安心・安全園芸事業推進大会

関係市場15社や生産者、JA役職員など約70人が出席し、園芸作物豊作祈願祭と安心・安全園芸事業推進大会を開催しました。

大会では、営農経済部の高橋広行部長が園芸事業生産販売基本方針と安心・安全対策の取り組みについて説明の後、果樹・野菜・花きの広域部会の代表者がそれぞれの基本方針を説明しました。最後に広域果樹部会の秋葉祐七部会長の音頭で頑張ろう三唱を行い、参加者は販売計画の達成に向けて士気を高めました。

## 営農センター別・作物別 販売高計画

単位：千円

	果実	野菜	花き	計
中央営農センター	500,000	410,000	30,000	940,000
西部営農センター	600,000	460,000	60,000	1,120,000
南部営農センター	1,200,000	40,000	120,000	1,360,000
北部営農センター	360,000	34,000	70,000	464,000
合計	2,660,000	944,000	280,000	3,884,000

5月18日(土)

## 入組1・2年目職員 農作業研修

入組1・2年目職員6人が農作業研修を行いました。協同の杜JA研修所に隣接する畑にさつまいもと里芋を定植しました。今後、水かけや除草作業を行いながら収穫を目指します。



5月15日(水)

## 豊作と安全操業を祈願 広域選果場安全祈願祭

中央営農センター敷地内にある広域選果場で、豊作・安全祈願祭を開きました。5月24日からの大玉トマトの選果を前に、生産組織代表とJA役職員18人が出席し、今年度の安全操業と豊作を祈りました。

広域選果場では令和3年に光センサー搭載の選果機が導入され、トマトや桃、リンゴ、西洋なし、柿など多品目の選果が行われます。

栗原秀行専務は「光選果機導入4年目となる今年には、更なる利用促進と有利販売に努めていく」と話しました。中央営農センター果樹組合の伊藤唯良組合長は「消費者の期待に応えられるよう、JAやまがたブランドの確立を目指し、安心・安全な農作物を生産していこう」と呼びかけました。



理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第2回理事会【4月19日開催】内容より

●報告事項

- ・コンプライアンス関連諸規程等に係る定期報告について
- ・自主検査実施要領に基づく理事会報告必須項目について
- ・組合員表彰者名簿（普通表彰）について
- ・週休二日制への取り組みについて
- ・JAやまがた令和6年度産米集荷方針および米個別出荷契約書について
- ・きゅうり選果場利用料改定について

●協議事項

- ・令和5年度の事業報告および剰余金処分案の承認について
- ・定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- ・令和6年度賦課金の賦課基準および徴収方法について
- ・第27回通常総代会の付議事項（提出議案）について
- ・第27回通常総代会の招集について
- ・令和6年度各種団体の活動費分配について
- ・運営協力委員の委嘱について
- ・国債・投信窓口販売業務取扱店舗の追加について

●報告事項

総代会が決議した理事の報酬の配分について



オススメ読書

購読申し込み  
各支店・グリーン  
または本店経済課  
TEL.023-624-8567



**70歳からの栄養がとれるレンジごはん**  
藤野 嘉子 著  
今年も暑い夏がやってきます。気温が高い日が続くと食欲が落ちるうえ、火を使っている調理は熱中症になるリスクも。料理がおっくうになる夏こそ、電子レンジ調理がおすすすめ!レンジだと暑くならず短時間で調理でき、栄養をまるごととれるメリットもあります。何より驚くほど簡単!加熱ムラを防ぐ食材の切り方やレンジに向けた食材選びなど、電子レンジでおいしく作るコツも満載です。  
定価 1,500円 (+税)



**手ぬいでちくちく暮らしの布小物**  
美濃羽 まゆみ 著  
針と糸と布さえあれば、誰でもすぐにできるのが手縫いのいいところ。場所を取らず、すき間時間を活用でき、家の中でできる趣味として新たに始める人が増えています。美濃羽さんの作品のいちばんの魅力は、大人っぽくも可愛らしくもあるセンスのよい布使いと、デザインのチャーミングさ。鍋つかみやエプロン、ティッシュケースなど家の中で使う小物から、お出かけの時に使えるバッグやポーチ、簡単な洋服まで、初心者でも簡単に作れるように丁寧に作り方を紹介します。手芸は苦手だけど、なにか作ってみたいという初心者さんにおすすめです!  
定価 1,500円 (+税)

読者の広場

6月号のテーマ  
JAと私

●JAさんには自動車共済や共済「むてき」等で大変お世話になっています。

広報紙、JAやまがたもいろいろな情報が記載されており、毎号楽しみにしております。(山形市Mさん)

●よく落合のJA直売所を利用しています。朝採りのタケノコや野菜等新鮮なものがいっぱい嬉しいです(山形市Oさん)

●クロスワード大好きです。頭の体操にとっても良いです。毎回楽しみにしています。(山形市Sさん)

たくさんのお便りをありがとうございました!

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

7月号のテーマ  
夏野菜

●応募方法 / 「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35

Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

●締切 / 6月25日(火) (当日消印有効)

●プレゼント / 「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下さった方の中から抽選で3名の方に「おいしさ直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

5月号クロスワードの答え: あやめ



あとがき  
5月の中頃から半袖で過ごす日も多くなりました。昨年の夏の猛暑を思うと、早いうちから暑さへの備えを始めようと思います。熱中症対策としては、日常生活での運動などで適度な汗をかいて、事前に体を暑さに慣らす「暑熱順化(しょねつじゅんか)」が重要なようです。

息抜き  
クロスワード

あみがけの□部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。

1	2			3
4			5	
		6		
7				8
		9		

- ↓タテのカギ
- 1 生産者から消費者に至るまでの商品の流れ。
  - 2 物が詰まっていないこと。
  - 3 一方が高く他方が低く傾斜している道。
  - 5 人が住むための建物。
  - 6 一定の位置に止まって動かないこと。
  - 8 世界の各標準時相互間の差。

- ヨコのカギ
- 1 取引高・売上高 出来高などに応じた手数料・報酬。
  - 4 時間の単位。1年を12分した期間。
  - 5 数量・程度などを表す名詞の下に付けて、それより少ないこと。
  - 6 のどから口を通して出る音。
  - 7 向かって行く先。
  - 9 南東の風。特に、台風期の強風をさしている。辰巳の風。

福祉センター青田  
健康  
コラム vol.112

梅雨の時期は食中毒に要注意

ジメジメと過ごしにくい季節になりました。気温や湿度が高くなる梅雨どきのいま、注意が必要なのが「食中毒」です。

- 細菌性食中毒(カンピロバクター・黄色ブドウ球菌・サルモネラ菌など)  
※細菌が食品の中に混入し起きる
- ウイルス性食中毒(ノロウイルスなど)  
※ウイルスが蓄積している食品を飲食したり人の手を介して起きる
- 自然毒食中毒(フグ・毒キノコなど)

- 〈食中毒の予防方法〉
- 食材は低温で保管
  - 食品の中心部までしっかり加熱
  - まな板・包丁・布巾などを熱湯・漂白剤で殺菌
  - 調理後の料理は早めに食べる



最後に  
身体の抵抗力が弱い子供や高齢者だけではなく誰でも起こりうる食中毒。食中毒の多いこの時期バランスの良い食事と適度な運動・休養で菌に負けない体づくりも行なって下さい。

お問い合わせ 福祉センター青田 TEL.023-616-8002  
介護サービス事業 / 通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

